

ゆく河の流れは絶えずして
しかも
もとの水にあらず

鴨 長明

裏面もご覧ください。

流れていく川の水の流れは止まることな
く、しかも、そこにある水は決して元あつ
た水ではなく次々と新しくなっていく。

『方丈記』

鴨 長明 (かものちようめい)

二五三〜二二六年。鎌倉時代の歌人。下鴨神社の神職の家に生まれ、本人も神職の道を望んだが果たされず、出家して大原山にこもった。その後、歌人として鎌倉に下ったが、激しい変革期に天変地異と貴族社会の没落を体験し『方丈記』を著した。人の世が移り変わるものであることは昔も今も変わりがない。しかも、流れの速度は昔と比べようもない速さである。つまらないことで悩んだり、怒ったりして時間を無駄に費やす暇はないのである。

紫陽花咲く頃のご参拝、皆さまの願い事はきつと神さまに届きます

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>



遷宮で結ぶ人の輪 心の輪
第六十二回神宮式年遷宮